

## 池田市総合計画審議会 地域生活環境・まちづくり部会④ 議事要旨

日 時：令和4年2月2日（水）18：00～19：30

場 所：池田市役所 3階 議会会議室

出席者：（外部委員）

大島部会長

浅田委員、板谷委員、岡本委員、喜多村委員、栗田委員、ゲレンチェール委員、  
庄田委員、多田委員（50音順）

（内部委員）

岡田委員、石田委員

<事務局>

総合政策部 水越、SDGs政策企画課 川本、田籠

<関係部>

市長公室 西山、市民活力部 高木、まちづくり推進部 根津、都市整備部 西村、  
消防本部 金井、上下水道部 吉村

傍聴者：0名

### 1. 開 会

事務局より出席者の紹介、開催方法について確認があった。

### 2. 案 件

#### （1）第7次総合計画について

事務局より資料について説明が行われた後、次のように質疑・意見交換が行われた。

<部会長>

基本構想の素案、施策体系、施策シート、「まちづくりの進め方」等ということで、今一括してご説明いただいた。こういう素晴らしい案をいただけたのも、まず委員の皆様が本当に積極的かつ建設的に、3回の部会にわたってご意見をいただいたことと、事務局の皆様が本当に遅くまで残って頑張っていたと思うが、この案づくりということで、ご協力いただいて車の両輪のような形で仕上げてもらったのではないかなと思う。皆様に部会長として敬意を表したいと思う。感謝申し上げます。

総合計画が池田市全体の今後の政策などの全体の方向性を示すものなので、ご専門の観光の分野のご意見を反映できればと思うので、お越しいただき委員に、よろしければ簡単な自己紹介とこの総合計画に対するご意見、期待といったものを少しお話いただきたい。

<外部委員>

観光協会という立場で、この会議に参加することになっていると思うが、今回初めての参加ということで、よろしくお願ひしたい。

皆様、事務局も含めて、素晴らしい基本構想を作り上げたと思っている。一つだけ思うのは、市長が替わられて女性になられたという大阪府下で唯一という部分で、池田市にとっても大きな一つの転換があった。我々旅館業も昔は男性の社長が独りで考えてやっていたという時代が長かったが、今は旅行先等を選択されるのも女性が主体になっているところで、今回SDGs 17のうち9のゴールを入れておられるが、できればこの5番のジェンダーの部分のゴールも、市の政策の中に入れられるところがあれば入れていただいた方がいいと思う。

<部会長>

今、池田市の中でのいわゆる観光や旅行業はどういう状況か。それを踏まえて何かご意見はあるか。

<外部委員>

池田市は、中心になるのはカップヌードルミュージアムで、一時は90万人の方が来られていて、それ以外でも五月山公園や「カーニバル」等を含めると、今のしっかりとした数字は分からないが、250万人ほどの方が他市からお越しになっているという、大変流入人口の多いところである。来ていただいた方に池田市の中でお買い物をしていただいたり、飲食をしていただいたりという、回遊の部分が昔からの課題であったが、なかなかそれがうまくいっていないというのが現実だと思っている。

私どもは中心部から少し離れた旅館ということであるが、来られる方は京阪神の方がほとんどで、インバウンドも20%ほどあったが、今は全くゼロという状況なので、何とか市内を回遊して、池田市内の商店や飲食店が賑わう施策というのが昔からの夢であるが、なかなかそれが達成できていない部分かと思う。

<部会長>

今ご意見いただいた中ではジェンダーの部分、それをどのように強調していくのかというところが一つの売りであると思うし、課題として回遊の問題があるということか。

<外部委員>

そのとおりである。

<部会長>

他に、旅行業と商業など、お泊まりになっていただくという部分もあると思う。そういう部分がマッチして、より池田市全体にとってもプラスになるような、そのような取組込みで検討してほしい。

<外部委員>

一つ自分のところのことを言って恐縮だが、温泉もあるような市は大阪府下でも少ないと思うので、その辺りも魅力の一つとして取り上げていただければと思う。

<部会長>

ありがとうございました。

ではここからは、各委員から何かお気付きの点や質問も含めてご意見いただきたい。基本構想の内容、ご説明いただいた順番に言うと、施策シート、施策体系、基本的に横串の考え方、基本構想の素案ということで、それぞれについていかがか。

<外部委員>

とても丁寧に集約、修正していただき、皆様には感謝申し上げます。質問が1点とご提案が1点ある。

まず質問の方だが、資料5の「まちづくりの進め方」「評価に基づく進行管理」のシートの2ページ目、「公共施設等のマネジメントの推進」の項目がある。実は私は池田市の公共施設等適正管理委員会の委員もしていて、ちょうど今週2回目の委員会があるが、ここに書いていただいているような文言についても議論の最中である。こちらの総合計画の審議会と、そういった各個別計画の委員会との関係、完成した計画に関してはもちろん総合計画が最上位の計画だが、進め方としては今の段階でこの素案を仮の決定稿として今週の金曜日議論が行われた方がいいのか、それともそちらの方で議論された文言がこちらの案に返ってくるのか、その辺りはどう考えればよろしいか。

<事務局>

只今の「公共施設等のマネジメントの推進」について、基本的にはここに書いているのは大きな方向性を書いているので、今回の適正管理委員会の内容とは関わらないと思っている。その委員会の内容も踏まえた中で、これを作成させてもらっているので、今回開催の委員会で大きな変更があれば、こちらの方も変えることはあるかと思うが、今のところ打ち合わせの中では、大きな方向性は変わらないと考えている。

<外部委員>

もう一つ提案だが、資料2の「めざすまちの将来像」のところで「共育文化都市」という言葉をご提案いただいている。「地域で市民が持続可能な未来を育てあう共育文化都市・いけだ」というキャッチコピーの部分について、とても個人的な感想かもしれないので申し訳ないが、この「育てあう」という言葉が、私がぱっと聞いたときに上から目線の要素が少し入っているようなニュアンスを感じてしまった。「育てあう」というのを、例えば「育みあう」と変えるのはいかがか。少し調べてみると、「育てあう」「育みあう」は意味がかなり違うようで、「育みあう」という言葉の方には、お互いに愛情や敬意を持って育てあうと、尊敬する気持ちや愛情を持って接する気持ちがより強く含まれていると、ネット上の辞典だがそのように記載されていた。この部分に関して、少しご検討いただければと思う。

<事務局>

そちらの部分に関しては、今後パブリックコメント実施に併せて、全体を「共育文化都市」も含めて、どうしていけばよいかということをご公募しようと思っている。その中で、「育てあう」ということを「育みあう」という変更も踏まえて、ご意見を参考にさせていただいて反映したいと思っている。

<部会長>

いかがか。

<外部委員>

理解した。よろしくお願ひしたい。

<外部委員>

施策シートのところで少しご意見申し上げたいが、資料4の1「価値を高め発信するまち」の(1)「環境共創」のまちづくりの部分について、施策の柱の4番がこの中に一部合併されたということで、個人的には「地球環境と調和した」という言葉が消えたのは非常に寂しい気もしているが、ここにまとめられたということで理解・納得はした。

その時に少しシートを見ると、「環境学習の推進」と他の2点、「みどりの環境づくり」と「脱炭素・循環型社会の推進」とのボリュームの差が少し気になる。文字量の差が熱量の差に見えてしまうと受け取られる。私は普段、環境学習が一番重要なところだと感じているので、ここを他と合わせるとどう見ても枠から超えてしまうので、少しバランスを取られてもいいのではないかという気がした。

それに加えて、他の「みどり」と「脱炭素・循環型社会」のところは、非常に具体的な方針が書かれているが、この①「環境学習」のところだけ「仕組みづくりを進める」という一言で終わってしまっているため、非常にもったいないと思う。冒頭に「環境学習基本方針に基づき」とあるので、この環境学習基本方針の中で、どのような人を育てていくかという目標像がコピーとして明記されているので、環境学習が波及していく結果、そういう人づくりを行っていくというような書き方にされると、より具体性が上がるのではないかと感じた。

<部会長>

ご意見に関してはコメントなどあるか。

<関係部>

おっしゃるとおりという部分もあるので、一度考えてみたいと思う。

<外部委員>

全体的に良くなっているため強いて言えばではあるが、先ほどの委員と同じく、資料4の「価値を高め発信するまち」の(3)「都市活力の維持・活性化」のところで、最後に「市

民の取組」があると思うが、どちらかと言うと農業関連の市民の取組に結構偏っていると感じられる。例えば地産地消で地元の野菜を消費しようといった書き方をされているが、野菜だけではなくて、地元の企業、例えば、お店などを積極的に活用するなど、もう少し枠を広げて、地元の農業だけでなく企業・商店なども愛していくというような市民の姿勢を求めていてもいいのではないかと思った。コロナ前によく言われていたのが、池田市の人は池田市ではなくて梅田に行って買い物をする、地元にお店があるけれども目がついていないということがよく問題視されていたので、そういう文言があってもいいのではないかというのが、一つ意見としてお伝えできればと思った。

<部会長>

これについては、ご担当の部長など事務局の方からいかがか。

<関係部>

それもまた検討したいと思う。

<外部委員>

特に質問ではない。今までの会議を重ねてきて、最近思ったことを少しお話だけしたいと思う。まず1点は、シティプロモーションの話で、内向きと外向きがあるという話を以前したと思うが、そこで今ずっと考えていて思うのは、どちらが大事かというのと、やはり内向きの方が大事なのではないかと、考えれば考えるほどそのように思う。特に今説明あったが、定住人口10万を目指すということなので、とりあえず今現状定住していただいている方は、そのまま住んでいただかないとかなり難しい状況になるかと思うので、まず内向きを重点に考えていただきたい。

もう一つはまた全然違うが、先日庭木の剪定をしようと思って、YouTubeを見ていたが、そこで植木屋さんが無造作に茂った庭木を剪定していかれるのを見ていてこれだと思った。というのは、こういう大きな計画を立ててそれに基づいて施策を実施していくにあたって、無造作な植木の状態では周りも全然見えないし、横の連携、横串などは望めない状態になると思う。きちんと剪定、整枝された、そういう施策体系に基づいて、周りが見える状態で施策の実施をしていただきたい。

<部会長>

只今のご意見についてどなたかお願いしたい。

<関係部>

市内向けの情報発信に関しては、全方位的な形にならざるをえない部分があると思うているが、漠然と情報発信するのではなくて、ターゲットを絞り込んで、高齢者の皆様や子育て世代の皆様などという形で、内容を絞り込みながら、ターゲットに応じた各種媒体を活用して、こまめに発信していきたいと考えている。高齢者ならば広報紙、若い世代、子

育て世代ならばホームページやSNSの各種媒体を活用して、発信していきたいと考えている。

<外部委員>

少し批判的な意見になると非常に嫌だと思いつながらも、発言させていただきたいが、今回のこちらの委員は、外国人等代表ということで参加させていただいているが、私自身今、池田市の公益活動促進協議会のスタッフもしていて、まちづくりに関わらせていただいている。

資料5の「まちづくりの進め方」の(2)「みんなで取り組むまちづくり」について、意見みたいな形になるが、今池田市のコミュニティセンターが6月に移転ということで、今日もそれに向けての打ち合わせなどをしていた。こちらはまちづくりの活動や市民団体などの支援に力を入れているところだが、実際今徐々に更新作業をしていると、今活動されている団体が、新しい建物にはなるが、場所が小さかったり、無料の方が有料になったりということで、市民団体の方がまちづくりをどんどんしていける環境に逆になっていないような気がしている。なので、若干ここの「まちづくりの進め方」と、今私がそこだけ見ているので問題があるのかもしれないが、そこでの齟齬があると感じてしまったので、ここでどうこうというわけではないが、一言それだけ言わせていただきたかった。

<部会長>

率直な感想、ご意見をいただいたと思う。事務局、担当の部長いかがか。

<関係部>

使用料の減免に関しては、近隣の市町村の施設や、池田市内の施設の状況等を確認した上で考えているところだが、市教育委員会が主催・共催・後援する場合や、学校・保育所等が利用する場合、コミュニティ推進協議会・自治会・町内会等が利用する場合は、一応減免という形を考えている。年間通して減免という考えはしていないので、そのつど使用内容に応じて確認しながら判断したいと思っている。今まではほぼどういふ状況であれOKしたが、今度から少し確認した上で使用していただきたいと考えている。

<外部委員>

理解した。

<外部委員>

計画について1点と、内容に関するところではないが1点思うところがあって、発言したいと思う。

1点目が資料4、施策の柱の「価値を高め発信するまち」の「シティプロモーションの展開」の「取組の方針」の②「観光の推進とイベント等の促進」の下から2番目、「大阪都心や大阪国際空港によってつながる他都市との近接性・利便性をいかし」というところについて、石橋商店街でスタートアップの支援などもしているということで少し目についた

が、「世界的起業家等の起業家精神の醸成を図りながら」が、この文脈で他のところにどう関連しているのかよく分からないところがあった。ある意味悪く言うと、取って付けたような感じがして要らないと少し思ったりした。事始めのまちというところはあるが、何かよく分からない入れ方だというのが、この施策を拝見して一つだけ気になった。

もう一つ、細かい施策内容に関連するところではないが、今後の方針であったり、取組の事例であったり、市民が見たときにといいご発言があったので、作って終わりではないという感があっていいと思う。ただ、これはどのような形で池田市民に見ていただけるのか、お店の人に見ていただけるのか、こういった取組をしようとしていることを、まずどう皆様に認知いただけるのかということ、作った後の展開を少し考えるべきだということも、この会議のことではないかもしれないが少し感じた。

<部会長>

これについてはご担当の部長か事務局でいかがか。

<関係部>

「起業家精神の醸成」といった部分について、確かにおっしゃるとおり、少し取って付けているところはある。ただこれは池田市の売りというか、商業、事始め奨励大賞や、百福大賞という言い方もさせていただいて、安藤百福や小林一三、偉大な発明をされたまちというのをセールスの一つという形にさせていただいている部分もあるので、そういったことでこういった文言の中にも入れさせていただいた。

また今年度から国の補助もいただいて取り組んでいるワーケーションがある。これは仕事と余暇の過ごし方を混ぜ合わせたもの、ワークとバケーションの造語ということだが、これが近畿でも四つの市ということで選ばれた。他のところは白浜などだが、池田市という特にそういうリゾート地とは違うところが選ばれたということも、やはり空港に近いことや起業家精神うんぬんという部分を十分にPRして、ワーケーションを売り込んだことが評価されたという点もあるので、おっしゃるとおりの部分もあるが、これは池田市の強みにしてどんどんセールスしていきたいと思っている。

<部会長>

浅田委員いかがか。

<外部委員>

理解した。

<外部委員>

資料2「第7次池田市総合計画基本構想」の最後、14ページの2「みんなで取り組むまちづくり」のところで、序盤に「大学など」と書かれているが、もう少し若い人も意識するような感じの文言を入れてはどうかと思う。大学だけではなくて、高校生なども巻き

込んでいけるのではないかと考えていて、「大学など」で終わらせるのではなくて、「大学などの教育機関」や「大学や高校など」のような文言を入れてはどうか。

<部会長>

これについては事務局、よろしくお願ひしたい。

<事務局>

おっしゃるとおり、大学とそういう専門機関ということで「大学など」としているところだが、「市民」の中に大学生・高校生も位置付けているので、その辺りも踏まえて、「大学」というのは研究だけではなく、高校を含めた中でどうしていくかということはいいご意見だと思うので、反映するようにしたいと思っている。

<部会長>

今のご回答でよろしいか。

<外部委員>

問題ない。

<部会長>

これで皆様からご意見をいただいた形だが、どうしてももう一言だけ言いたいという委員はおられるか。

<外部委員>

少し確認だが、「目次」ということで、「基本構想」の部分の目次を付けていただいているが、第1部「序論」、第2部「基本構想」、これは冊子になったときに、この後ろに第3部「基本計画」ということで、資料3・4・5が入るイメージで合っているか。資料5が割と重要なので、これが市民の目に触れるときに、どこにどういう形で入るかを確認したい。

<部会長>

事務局からお願いしたい。

<事務局>

今委員からご質問があった、総合計画が冊子化されたときの目次のことだが、おっしゃるとおりである。最終的には、1冊のものは「基本構想」と「前期基本計画」が1冊になるので、目次も一続きになったものになることを想定している。

<部会長>

よろしいか。



<外部委員>

理解した。

<部会長>

それでは皆様、部会としては最後になると思うが、最後の最後まで貴重なご意見をいただき誠に感謝申し上げます。

せっかくこちらにお越しいただいているので、最後にここにおられる委員の方々にも一言ご意見をいただきたいと思う。

<岡田委員>

シティプロモーションをはじめとする、池田市の発信力が少し弱いのではないかという指摘が我々にもよく聞こえてくるが、そこが一番重要かと思っている。この総合計画を作った後、先ほども言われたとおり、どのように市民の方に見せていくかということも考えていかないといけないところなので、ホームページやその辺は当然のことながら、新たな見せ方を検討していきたいと思っている。

<石田委員>

色々ご意見頂戴して感謝申し上げます。本日も若干宿題をいただき、またアドバイスもいただき、感謝申し上げます。最終また調整したいと思っている。

今日午前中も別の部会があったが、少し遠慮しすぎの表現があり、アピールする部分はアピールし、池田市の魅力を読み取れるような計画にすべきだという意見があった。その辺が気になっているので考えて今後進めていきたい。

<部会長>

最後に部会長としてご挨拶を兼ねて申し上げたいと思う。

まず改めて皆様、積極的かつ活発、さらには建設的なご意見をいただき、誠に感謝申し上げます。部会長として運営していく上で、皆様にお助けいただいたところがとても大きいと思う。そしてその考えを迅速に的確に反映いただいた事務局の皆様、またお忙しい中ご出席いただいたご担当の部長様方、誠に感謝申し上げます。

私事だが、今日四国へ出張していて、この会議に間に合うように一生懸命帰ってきた次第だが、そうすると少し早目に着いてしまった。せっかくなので、池田市の中を少し散策していただくということで、駅前の商店街や五月山の方も少し歩いて、改めて池田市の魅力を感じたところである。駅前を中心にコンパクトで魅力的なまちであり、少し歩けば今日のご意見にもあったが、自然豊かな五月山に触れる。その途中でいわゆるお屋敷街というか、古くからの住宅街が広がっているということで、じっくり歩けば魅力が発見できるようなまち、コンパクトなまちというのは、なかなかないと思う。

ただ池田市の皆さんは、それがあある意味では日常的に触れられているので、当たり前のように感じられていると思うが、決して当たり前ではなく、このように恵まれた自然豊か

でコンパクトで賑やかで、かつ交通の利便性が高いのが、本当に強みのあるまちであり、そういう部分を今後強調、発信して、外部から活力を呼び込んでいくのが重要かと思う。

池田市の運命として、近くに豊中市や宝塚市、伊丹市など、有力な魅力的なまちに囲まれているので、差別化などでこれまでご苦労された点があると思う。おそらく人口減少になってくると、そういったところは阪急沿線のお仲間でもあるが、ライバルにもなってくるので、近隣の市とは協力関係にもありながら、より競争していくところも重要になってくると思う。その点、今回委員の皆様にご議論いただいたシティプロモーションが、市政の中でも重要なテーマになってくると思うので、ぜひ今回ご議論いただいた内容を計画だけではなくて、市政にご反映いただければと思う。そうしていただくと、部会長として貴重な時間を皆様にいただいた責任を少しは果たせるかと思うので、ぜひよろしくお願ひしたいと思う。

### 3. 閉 会

事務局により、次のように事務連絡が行われた。

#### <事務局>

次回については全体会議を予定しており、その日時については、事務局からメールでご連絡差し上げている通り、2月10日木曜日の10時からとなっている。

案件については、各部会の4回目でお寄せいただいたご意見を反映させた、第7次総合計画の基本構想及び前期基本計画をご審議いただく他、今後のパブリックコメントの実施に併せて行うキャッチフレーズの公募の手法や、中学生意識調査の結果をお示しさせていただく予定である。また、この開催方法については、この日も蔓延防止等重点措置が適用期間中となることが見込まれることから、今回と同様にオンライン会議を活用した形での開催とさせていただきます。

それでは以上をもって、池田市総合計画審議会、第4回地域生活環境・まちづくり部会を終了させていただきます。

以上